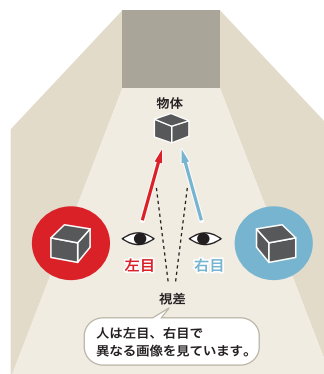


画像が飛び出す！ 3D立体表示を実現する3Dグラフィックス描画ミドルウェア

MascotCapsule eruption 立体視機能拡張

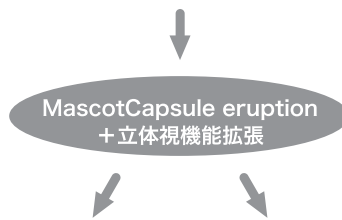
何故立体に見えるのか？

人はモノを見る時、左目、右目で方向の違い(視差)があり、またその視差によりモノの見え方が異なります。人はこの「視差」により奥行き(立体)を感じています。つまり、左目、右目それぞれに異なる画像(左目、右目それぞれに専用の画像)を見せる状態を人為的に作り出すことで、人は機器に映る画像を立体として認識することができるようになります。

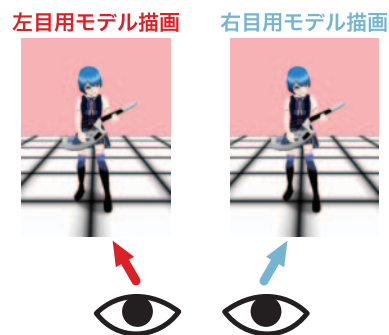


今回、エイチアイは、既存の3Dグラフィックス描画ミドルウェアeruptionに、1組の3Dグラフィックスモデルデータから左右の目用の画像描画が同時にできる機能を拡張し、立体視に対応した描画ミドルウェアを開発しました。本製品を利用することにより、アプリケーション開発者は、複雑なプログラミングを書く必要がなくなり、立体視向けの左目、右目用画像を自動的に描画することが可能で、効率良く立体視用コンテンツを開発できます。また本デモでは、NEC液晶テクノロジー社の3D裸眼立体視用パネルを使用してアニメーション付き3Dグラフィックスモデルをリアルタイムに表示しています。

1組の3Dグラフィックスモデルデータ
(ポリゴンデータ、テクスチャ、アニメーションデータ等)



立体視用に2つのモデルを自動生成



特長

- ・1組の3Dグラフィックスモデルから立体視対応のコンテンツを自動生成
- ・両目の間隔、焦点の位置等を拡張APIで設定可能
- ・NEC液晶テクノロジー社独自のHDDP構造の3D液晶パネルと組み合わせることで、3Dコントラストの高いリアルな3D表示を実現

- MascotCapsuleは、株式会社エイチアイの日本国内における登録商標です。
- その他の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。
- このパネルでは、個別に表記されている登録商標への商標登録表示を割愛しています。